

令和8年度都立山崎高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎学力の定着と豊かな言語活動の実現	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートアプリ等を利用した文章読解指導 ○語彙や文法などの知識事項習得の支援 ○自身の主張を適切に文章・スピーチにするとともに、ビブリオバトルや短歌・エッセイ発表など多様な価値観にふれる学習の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○発問や演習問題に対する口頭・記述解答作成指導と他者の意見・考えを踏まえた改善指導
地理歴史・公民	基礎基本を定着させる指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・文章が簡潔で、図や写真が多く掲載されており、生徒が興味関心をもてる教科書の選定 ・中学の知識の学び直しを重視した授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の知識を活かして課題解決に取り組み、思考力、判断力、表現力の育成を目指す授業の実施 ・ユネスコスクールとして、理科、情報科、主権者教育としての国語科、家庭科と連携した教科横断型授業の開発と実践を行う。
数学	数学的な見方や考え方を働かせた数学的活動	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程においてノートアプリ等を用いて共同学習等を行い、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ノートアプリ等を利用して問題解決の過程を振り返って考察を深めたりする広めたり授業を実施
理科	「探究の過程」を身につけるための基礎的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト等により、基本的な知識及び技能の定着をはかる。 ・身近な自然現象について取り扱い、興味関心を高めるとともに、持続可能な社会と関連付け、自ら学ぶ意欲を高める。 ・科学的なものの見方や考え方を育てるため、実験や校外を含む実習を行い、論理的な思考力、判断力を身につけさせる。 ・MetaMoji Classroomによるプリント記入など一人1台端末を活用した学習と表現を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携を活かして、探究の方法やレポートのまとめ方について学び、課題を見つけ、解決する力を育む ・ユネスコスクールとして、社会科、情報科等の他教科と連携した教科横断型授業の開発と実践を行う
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わい、健康や体力の状態に応じて自ら体力を高められる指導内容の充実を図る。 ・心身の健康の保持増進のために適切な意思決定や行動選択ができるよう指導の内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会で年間授業計画について共有し、一貫性のある指導を目指す。 ・課題解決、探求型授業を導入し、グループ学習による探求的な授業の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の体力テストの結果を受け、科で検証し、生徒の実態に即した段階的な指導の改善と工夫を目指す。 ・問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価を改善する授業の実施。
音楽	歌唱や器楽の演奏で表現する技術を身につけ、自分なりに表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを実施して、自分の意見を他者に伝えたり、他者の意見を参考にして考えを深める。 ・いい声とはどのようなものか考え、実現させる目標をもって発声練習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律やリズムの創作活動を通して、曲の構造を理解しながら表現する。 ・良い声とはどのようなものかを知るために合唱団の演奏会を鑑賞し、良い声に触れ、良い声について学ぶ。 ・創作したものを表現するのにふさわしい奏法を考え、実践する。
書道	表現と鑑賞の相互の関連を図った能動的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・書の伝統と文化を知るために古典の鑑賞と臨書活動を実施。 ・生徒が感性を働かせて能動的に学習を深めていくための創作活動の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の記録・振り返りのためのワークシートの記入、およびポートフォリオの作成。 ・9月の文化祭に向けた作品制作、および作品の展示。他者の作品の鑑賞。
美術	想像する力を養うとともに、表現する技術を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・素材や技法の違う課題を実践することにより、様々な場面における発想や表現する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相互の作品を鑑賞しながら、話し合うことにより視点の違う考えを学び、さらに工夫し発展する力とする。
英語	基礎基本の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・単語テストの実施 ・長期休業中を活用した反復練習 ・SDGsを意識し世界的な動向に興味を持つ教材開発 ・自分の意見を英語で言えるようにする ・TGGを活用して、より積極的に英語を使う気持ちを育てる ・夏期休業中に外務省やアメリカ大使館、浅草で実践会話を試みる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英検対策 ・夏休み講習 ・校外講習 ・飛び出せ山崎 <p style="text-align: right;">・TGG</p>
家庭	生活を主体的に営むための知識及び技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだことを自分の言葉で整理し、どのように自身の生活に生かすかを検討する時間を毎時に設ける。 ○生徒が自分事として学べるよう、実物の用意など教材を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や実習等の体験的な学習を多く取り入れる。 ○多様な意見に触れさせるためにグループワークや調査○発表する活動を取り入れる。
情報	情報社会における課題解決に資する体験的・協働的な学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決型学習を多く取り入れた教材の採用 ○ 検定試験の年2回実施および講習の実施 ○ 体験的・協働的な学びを促す学習活動の充実(実習、クイズ作成等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通テストを見据えた、個別最適な教材の提供 ○ 先進的な情報技術に触れる体験活動の実施 ○ 生成AIを活用した探究的なプログラミング学習の推進